

山菜採りは 安全第一！

4月13日には新庄市空蔵山で遭難事故発生



- 複数名で入山する。家族に行き先、帰宅時間を伝えておく。
- 早く出かけて、早く帰る。体調の悪い時は無理をしない。
- 食料や雨具、携帯電話、予備バッテリーを持っていく。GPS機能を有効にする。
- 目立つ色の服を着る。
- 急な崖・危ない所には立ち入らない。
- 熊よけ用の鈴やラジオを鳴らす。
- 道に迷ったらむやみに動きまわらない。

クマにも注意



清水駐在所
肘折駐在所



山形県警察官

オンライン

採用 説明会

- 開催日時
 - ① 4月28日（金） 午後5時30分～
 - ② 5月27日（土） 午前10時00分～
 - ③ 5月27日（土） 午前11時00分～
- 内 容
 - ① 警察官の仕事と魅力
 - ② 採用試験の案内
 - ③ 質疑応答（全体で45分位）

【参加方法】 ZOOMを使ったオンライン説明会です

【申 込】 インターネットに接続できるパソコンやスマホを用意して下さい。参加には「やまがたe申請」による事前申込が必用です。詳しくは山形県警察本部ホームページ内「オンライン説明会の開催」をご覧ください。

【申込期間】 各開催日の前日の
午後5時15分まで

【定 員】 無 し

【その他】 参加する上で必要なID・パスワードは開催日の前日に申請時に登録されたメールアドレス宛に送ります。ZOOM時の顔出しは自由です。質疑応答はチャット機能を使用して下さい。

【問い合わせ】 山形県警察本部警務課人事係
電話 023-625-0871



清水駐在所
肘折駐在所

野火・林野火災

にご注意下さい!



春先は空気が乾燥しやすく、枯れ葉、枯れ草が多い
ため、野火や林野火災が発生しやすくなっています。
県内でも多数発生しています。十分注意しましょう!



野火や林野火災は、消火用水の
確保や機械の搬入が難しい所で発
生することが多いため、いったん
発生すると消火が困難になります。

- ① 枯れ葉、枯れ草のある場所での火の使用は控えましょう
- ② タバコの投げ捨てはやめましょう
- ③ 火を使用した時は完全に消火しましょう
- ④ 火を使用する場合は水や消火器を用意しましょう
- ⑤ 乾燥注意報や強風注意報が出ている時は火の使用は控えましょう

安全・安心
街づくり



清水駐在所
肘折駐在所

おおくら 議会だより



旅たちのとき(要の松を望む)

風水にふれる里
第 **135** 号
2023.春

もくじ

3月定例会	2~3P
予算特別委員会	4P
一般質問	5~12P
所管事務調査報告	13P
ブレイクタイム	14P

発行/
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集/議会広報常任委員会 年4回発行
発行責任者/議長 鈴木君徳
印刷/共栄印刷株式会社

で新年度スタート!!

総額 53億1350万円

特別会計 14億2350万円

一般会計 38億9000万円

3月定例会
令和5年度
当初予算

3月定例会が3月7日から10日にかけて開催され、新年度予算案に令和4年度補正予算等を加えた35議案と議員発議1案を審議可決。先立って行われた一般質問では7人が村当局の考えをただし、冬季の暮らし、学校給食、村バス運行の課題等に関し活発な議論が交わされた。

条例の設定・改正

- ・村個人情報保護法施行条例の設定
- ・村情報公開・個人情報保護審査会条例の設定
(いずれも、国の「デジタル社会の形成を図るための新法」に対応したもの)
- ・教育委員会教育職員の給与、勤務時間等に関する条例の設定
(教育委員会事務局に指導主幹を新たに配置するため)
- ・国民健康保険条例の一部改正
(出産育児一時金の支給額を上げるもの)
- ・村消防団条例の一部改正
(消防団員の定数の見直しのため)
- ・村特定教育・保育施設、特定地域型保育事業、子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
(国の法律の改正に伴うもの)
- ・村保育事業の設備、運営に関する条例の一部改正
(国の法律の改正に伴うため)
- ・最上広域の基金に対する出資金に係る権利の一部放棄
(広域の新消防庁舎建設の財源に充てるため)

令和4年度補正予算

- ・令和4年度一般会計補正予算
(主に事業の確定や精算によるもの)
- ・令和4年度特別会計(水道・下水道・診療所・浄化槽)
(主に事業の確定や精算によるもの)

新年度予算

- ・令和5年度一般会計他7特別会計
(予算委員会を経て全会一致で可決)

請願の審査

- ・新庁舎建設候補地に「上竹野・上熊高」地区を加える請願



- 請願者
大蔵村大字南山六二四番地二 高山 信男
大蔵村大字南山一五七六番地 中島 良久

請願事項
役場庁舎移転の候補地として、交通事情の良さや高台という利点のある「上竹野・上熊高」地区を追加し検討すること。

審査結果《不採択》
審査理由

役場新庁舎の候補地については、新庁舎検討会議において、清水・合海地内の5地区を候補地とし協議を行い、合海明土地区とし議会も同意。その後の「役場庁舎建設推進委員会」で承認を得たことにより、新庁舎建設地は合海明土地区を候補地としているため。

人事案件

- ・監査委員の選任に同意
★土屋 徹 氏 (清水三) 再任
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
●国分 亨 氏 (通り) 再任
●中島信一 氏 (沼の台) 再任
- ・情報公開・個人情報保護審査会委員の選任に同意
(国の法改正で一本化になり、新たに委員を選任)
●山下佳子 氏 (赤松)
●松田与市 氏 (合海)
●須藤 薫 氏 (平林)



議員発議

「村議会の個人情報の保護に関する条例の設定」

発議理由
令和5年4月から、民間・行政機関・独立行政法人等の個人情報の保護に関する法律が一本化され、全国的な共通ルールが適用されるが、議会は適用対象外となっていることから、議会が自律的に条例を制定する必要が生じたため。



ここが知りたい

村政を問う

一般質問
3月
定例議会



おおくら君29世 完成式

巨大雪だるま「おおくら君29世」完成式が、3月15日肘折いで湯館前で行われ、地元の園児らも参加。晴天に恵まれました。身長10.8M、ウエスト97M、体重1854t デザインは、大蔵中学校 一年生 蔵津斗望さん

一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

7議員が一般質問

6P 佐藤 勝 議員

○「屋根からの落雪や、倒木被害の責任の所在は」

7P 八鍬 信一 議員

○国道458号線への接続道路新設

8P 加藤 忠己 議員

○雪情報の周知について
○議会のペーパーレス化の検討について

9P 斉藤 光雄 議員

○村政について村長に問う

10P 佐藤 雅之 議員

○「学校給食の無償化」、機は熟したのではないか

11P 早坂 民奈 議員

○交通弱者の今後の対応は

12P 矢口 智 議員

○空き家対策に妙案はあるか



升玉水力発電事業地域還元

全戸に商品券交付!!

予算審査特別委員会

一般会計

歳入

問 村民税収収が、本年度より200万円以上多く見積もられているがその根拠は。

答 園芸やコメの収入の増加が見込まれるため。コメの収束も見据えている。

問 入湯税が、本年度よりも多く見込まれる根拠は。

答 本年度2月までの実績で税込が700万円を超えている。ただし日帰り客は伸びていない。

歳出

問 升玉水力発電地域還元商品券交付の目的は。

答 世界情勢もあり物価が高騰している。物価高対策の一助となればよいと考えている。

問 地域おこし協力隊が大蔵村にはなかなか来ないが。

答 隊員として着任寸前までいった事例もあるが実現していない。首都圏でのPRをおこないたい。

いを求めている。

問 村営バス利用推進委員会はどの様な議論をしているのか。利用者から直接意見を聞くことも必要ではないか。「バスロケーションシステム」導入は、この推進委員会からの提案か。

答 推進委員会は各団体の代表がバス料金やルート変更などについて話し合っている。利用者からも何かしらの意見を拝聴したい。バスロケーションシステムは冬季のダイヤが乱れバスが遅れる場合があるためそれを知らせるために導入。推進委員会からの提案ではない。

問 肘折いで湯館工事、2500万円の内容は。

答 屋根の塗装工事。経年劣化のため。

問 ラジオで流れる肘折温泉のCOMMERシャルが大変素晴らしい。今後も宣伝の継続を。

答 ラジオCOMMERシャルの内容は、放送局任せでなく担当課でよく考えたもの。

の。県内の若年層など地元の人から知ってもらいたい。

問 いで湯館前の広場を雪だるま作成だけでなく有効活用するべき。簡単な遊具の設置など、肘折の住民と話し合いをしたことがあるか。

答 話し合っているが現状では、広場の管理などで手が回らない状況。

問 村を象徴する動物が牛しかし、畜産業が衰退に向かっているがどう考えるか。

答 新たな酪農振興は難しい。現在頑張っている酪農家の支援に努めたい。

問 豪雪対策本部はできたが、「除排雪補助金」を今年度は出さなかった。局的的に降り方が激しかったところには補助金の給付対象になりうるようにすべきだったのではないか。

答 「補助金ありきの事業」とは考えていない。

特別会計

問 村は、国保税を2年連続引き下げたが、今後保険税が全県統一になった

場合、保険税はどうなる見込みか。

答 2度にわたって引き下げ、現在県内では低い方の水準にある。統一された場合、保険税が上がるの見込まれる。

問 簡易水道事業は人口減少もあり、収入も減少することが予想される。水道料金の値上げを抑える努力を。

答 基準外の繰り入れは赤字の補填に当たる。精査をし経費を削減して影響をできるだけ小さくする。

問 下水道の普及率は。

答 85.7%。今年度普及促進月間を設け加入促進を図る。

問 電子カルテシステムにマイナンバーカードはいつから利用できるか。

答 歯科は4月から、医療は7月より運用開始される。





佐藤 勝 議員

屋根からの落雪や、倒木被害の責任の所在は 村長 民法にも明記の通り、所有者の責任

問1 毎日のように屋根からの落雪や転落事故、倒木による大規模停電や通行止めの報道がある。実際に村でも長時間の停電の中、寒さと不安で大変な思いをしたことは記憶に新しい。特に老人や一人暮らしの方には厳しく不安な時間だったはず。現場の状況を事前に把握して対応すればある程度防げるはず。豪雪地帯であればこそ、防災無線やA-1音声で注意を呼びかけただけでなく、現場の状況を職員が目と体で把握し、防災に対する課題に真剣に取り組まなければならない。これらのことで事故が起きた場合、根本的な責任は誰にあるのか。また、空き家の取り壊しなどは、所有者の了解を得て村でできないか。

答1 民法にも明記されている通り、屋根からの落雪により、第三者に損害を与えた場合、所有者に賠償責任が生じる。家屋などは、自己責任の基に管理の徹底を願う。空き家の取り壊しを村で行えば転出者の増加に拍車をかけることになり良い策ではない。

問2 倒木などによる停電や通行止めなどの復旧や補修は電力の関連会社が行うので問題がないが、倒木等の撤去費用などは所有者の責任になるのか。

答2 倒木による被害については、発生原因が様々で一概に責任の所在を述べることはできない。今回は被害が広範囲に発生したため、東北電力ネットワークと協議をした。その結果、倒木が予想される道路沿いの樹木の伐採を行う予定となっている。

問3 急を要する場合、村内には無償で土砂や雪の排除を行っている人が大勢いる。その際、二次被害や責任の問題、休日や夜間の対応等どう対処するのが最適か。

答3 村の委託業者で行うのが最適。緊急の場合は役場に連絡し、相談していただきたい。



八鍬 信一 議員

「国道458号線」への接続道路新設は 村長 開通後の状況を見極め検討する



問 白須賀地内より現在工事中の国道458号線に接続する道路は、興源院の墓地に通じる路線と、翠明荘入口より二日町方向路線の2本がある。

いずれも屈曲した狭い道路で、車の対面通行はできず非常に危険で不便な道路である。

白須賀中央より新国道へ通じる道路を新設し、安全と利便性を確保することも、通行する全ての村民・

車両にバイパス道路の恩恵を供与するべきである。道路整備によって次項の社会効果がある。

① 新設道路通行車両により、現信号交差点の通過車両が大きく減少
園児や送迎車両・一般歩行者の安全向上
② 信号より坂道は歩道もなく勾配が急で危険
新道ができれば、徒歩・シルバーカー等の高齢者負担の軽減と安全確保

③ 今後の基盤整備・災害復旧等大型車両増加に対する交通安全確保
④ 浸水時の通行止めによる交通障害解消

堤防は60cmほど嵩上げされたが、上流の越流部分が未整備のため、再度浸水の可能性大である。

答 接続道路について担当課に検討させたところ、直線距離で約200m、高低差は3m程度で道路幅員も2車線とし、歩道の設置も必要となる。地形上大規模な暗渠等が必要となり工事費も高むものと思われる。当バイパス道路の開通については、令和6年度になるのではと予想されることから、開通後の通行状況・地域住民の安全状況を見極めて整備を検討したい。





加藤 忠己 議員

雪情報の周知について 村長 事象に機敏に対応する

問 ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもので、現在、洪水・土砂災害ハザードマップ等8種類のマップがあるとのことですが、雪の災害に対してのハザードマップはありません。積雪量日本一と報道される村です。「くらし」を利用して雪に対する情報を発信していますが、この集落は現在積雪量いくら、この道路は冬期閉鎖、道幅が狭い、上り坂でカーブ多い、雪崩に注意など村内住民や

答 冬期間の閉鎖道路や雪害による通行制限などの道路情報の周知については、これまでも「くらし」や防災行政無線を活用し周知していますが、村外から観光で訪れる方々には伝わらないのが現状。村のホームページで情報を発信したこ

ともありますが、観光に訪れる方々がリアルタイムで雪に関する道路情報を得るためには、道路標識による情報伝達が有効だと考える。現在は、主に国道や県道に多くの看板が設置されていますが、今後、村道についても看板等の設置個所を増やしていきます。



議会のペーパーレス化の検討について 村長 環境整備を整え検討

問 議会において配布される資料は毎回数十ページから数百ページになり、予算書や決算書に至っては三百ページ前後になる。資料は各議員や村長はじめ執行部にも配布されるので、その量は膨大なものとなる。用紙、コピー代等毎年多額の費用と資源が使われている。議員全員にタブレット端末を配布し、配布資料の大幅削減が実現できた事例も報道されている。SDGsにも繋がっていくのではないかと。ペーパーレス化の推進について障害となるものがあるれば何か、また検討課題は何か、村長の意見を聞きたい。

答 議会におけるペーパーレス化については議会としてどのように考え行動に移していくのか、議員皆様で議論することが肝要かと思えます。さらに、ペーパーレス化の推進については住民の方々の理解が大切でありパソコンやタブレットの扱いに、不慣れな高齢者の方々に対する取扱いの説明などの確に行わなければならないものと考えます。さらに、タブレットなどの調達費用やランニングコスト、環境整備を含めた費用対効果など充分な検討のもと丁寧な説明が必要と思う。



齊藤 光雄 議員

医療体制について

問 医師の定年まで2年ほど、常勤の後任医師の配置は。 **答** 現在の常勤医師について、令和8年3月末で定年を迎える。定年延長は難しい。

電気料金の補助について

問 オール電化の住宅も数多くあり、村高齢者(所得制限)世帯へ、電気料金の補助を検討出来ないか。 **答** 升玉小水力発電を活用した、地域還元事業を当初予算に盛り込み。その事業が電気代高騰の一助になれば幸いと考える。

村民のきょうじゅん

問 舟形町・真室川町において、スマホ・パソコン等の学習施設があり、本村においても設置出来ないか。

答 地域での交流が困難となることも懸念される。インフラ整備に多額の費用が必要で現状では困難である。

合海地区消費電圧について

問 水の出具合が悪く消費電圧が成されず、道路上に雪が残る状態箇所が多く見られます。根本的な対策を。

答 井戸の浚渫工事を実施し揚水効率を向上させ、当面は状況の把握に努め対処し、いち早く改善させるよう検討する。

烏川一号線の狭隘道路について

問 村内認定路線の中で最も危険な道路であり、冬期間においても危険と隣り合わせの路線です。

答 用地の確保が非常に困難で、インフラに多大な経費を要し、他の道路事業との優先順位等を考慮し地域の抱える課題解決について検討。

農業政策について

問 飼料用米に交付されていた、産地交付金が今年度より無くなる。多様性があり、(エタノール)がとれ、ハウス等の燃料に使用出来ます。鮭川村は、村独自の補助を行っており、当村でも有望と考え農家に補助

災害対策(清水・合海地区の内水について)

問 清水堰よりの流入が内水の原因と考えられるとの意見があります。基盤整備事業時に、取水施設の移動が可能となれば堰の閉塞が可能と成り得る。合海地区のあやめ公園に、排水ポンプ場建設が成されれば、一層の内水対策と成り得るが。 **答** 坑口の閉鎖に関し、協議の結果当面は現状維持。清水堰維持管理組合の管理と認識する。災害対策として所有者、管理者に対し関係者として引き続き支援を行う方針。あやめ公園の排水機場整備は、村が単独での事業は困難な状況。

役場庁舎整備について

問 合海地区への整備予定地について、菅野・季の里 **答** 予定地は、「役場庁舎建設推進委員会」で、問題なしという決定をいただいた。合海地区内の土地を一所に絞って、土地所有者との交渉に入っていく。 「小中学校を小中一環校として、1校を庁舎の考えでの整備計画はあるのか」一方の校舎に小学生及び中学生が在籍することは、体格差や教室の規模等が異なるため、現校舎を利用することは困難である。 「村の将来像をどう考える」今後議員、村民の方々にから庁舎を生かした活性化について、意見を伺う。 **問** 庁舎整備予定地、周辺の住環境を考慮し環境アセスメントを行い、整備計画を実施すべきでは。



佐藤 雅之 議員

**「学校給食費無償化」、
機は熟したのではないか**
村長 無償化の恒久財源確保に向け、国に要望活動を継続
教育長 教育環境の変化も見据え、
十分な話し合いと検討

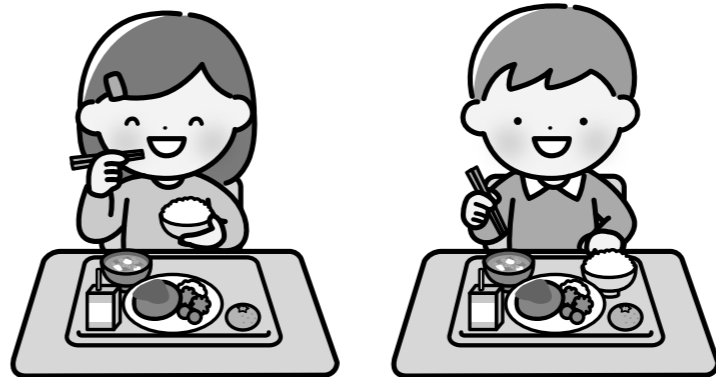
問 政府は「異次元の少子化対策」を今国会で掲げている。村も高校卒業までの医療費無料化など、子育て政策を行ってきた。令和元年の12月議会で村長は当時、「給食費減免に必要な財源確保など、総合的に検討する」と述べた。令和4年12月現在、全国では254自治体で、小中学校の給食費が無償となっている。県内

答 村長 でも寒河江市、西川町、鮎川村で既に無償化され、戸沢村では首長選で無償化を公約に掲げる候補もいた。本村でも、国の「異次元の少子化対策」に後れを取ることなく財政支援等を国に要望し、恒久的な学校給食無償化に踏み出すべき。村長と教育長の考えは。

答 村長 学校給食法では、給食の実施に必要な施設、

設備、運営に要する費用は学校設置者が負担し、それ以外の給食経費は、給食を受ける児童、生徒の保護者の負担となる。管内でも子育て支援、少子化対策の一環として、給食費の無償化や一部補助を自治体独自で実施しているのは把握している。国は異次元の少子化対策の議論を行っているがまだ全容が示されていない。学校給食費無償化に係る恒久的な財源確保については町村会を通じ国に要望を行っている。今後も機会を捉え実現に向け要望活動を継続する。無償化については、財源確保など総合的に検討していく。

免許のある学習指導員の配置や公営学習塾「未来塾」の継続により、児童生徒の学力向上や自己肯定感の向上につながった。今、何を整備すべきかのプライオリティ、優先順位の下に教育・学習環境の整備を展開している。ただ、日々教育を巡る環境も変化しているため、給食費の無償化、軽減化については様々な考え方もあるので将来を見据え十分な話し合いと検討が必要と考えている。



早坂 民奈 議員



**交通弱者の今後の対応は
村長 全てのニーズに応えるのは難しい**

問1 議員として当初より少子高齢化問題を重要な課題として取り組んできた。今年も雪が少なく高齢者にとって、見守りや除雪に対する対応は見えていないが、買い物や通院のための足確保については形として見えてこない。今まで何度も同じ質問であるが、デマンドタクシーは運行の難しさから村営バス方式の運転継続との答弁であった。しかし現実困っている方々はどうすれば良いのか。

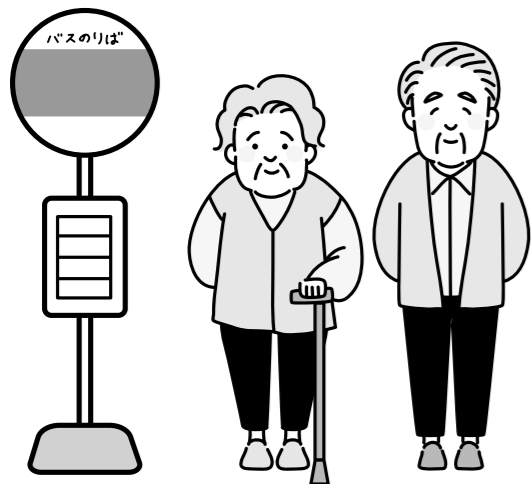
答1 デマンドタクシーの運行はいつでもどこへでも自由というものではない。村では、ほぼすべての地区でフリー乗降方式の村営バ

スを運行しており、運行費用等の経済性とその効果を考慮すると現在の形が一番良い。タクシーの導入は今のところ考えていない。バス時刻については利用する立場によって要望が違い、全てのニーズに応えるのは難しい。

ており理解している。スクールバス混乗の路線は、児童利用が無いとき運休するのではその地区の利便性はどうか。時刻を変えるのは大変だが、高齢者は待ち時間が長いのはつらい。また、有償ボランティアはどこまで進んでいるのか。

答2 利用者がいれば運行する。有償ボランティアについては検討まではしていないが、翠明荘とは話し合いを持った。福祉タクシーなど模索しているが、民営を圧迫してはならないと考えている。

問2 デマンドの運行は村内の主要施設等までと考える





矢口 智 議員

空き家対策に妙案はあるか 村長 国の交付金活用も今後検討

問 空き家対策の有効な手立てを見いだせないまま、時が過ぎていると感じている。最小限の対策を立てていることは承知しているが、現状はどうだろうか。空き家は増える一方である。国も空地・空き家への対応に力を入れ始めようとしているが、解決には程遠い状態と見ている。この対策については、国頼みではどうしようもないところまで来ていることが明らかだから、自治体の中で独自に対策を行っているところ

答 空き家については、本村に限らず日本全体の課題となっているが、空き家を含め建物の管理は本来その持ち主が行うべきこと。仮に、村が公費を使い空き家の解体撤去を行うことは、今後離村される方が、家屋

も増えてきているのが今の状況だ。地方分権、地方創生と声高に言われる今だからこそ、村独自の政策を立ち上げそれを国に示す。地方から変えていく気概を示すべきと思うが。

の解体はいずれ村で行ってくれるものと拡大解釈され、家屋を放置したまま転出する方が増えるという悪影響を与えかねない。しかし、老朽化が進みそのまま放置すれば倒壊等により近隣住民等に危険が及ぶ恐れや衛生上有害な状態、または著しく景観を損なっている状態の空き家については、やはり何らかの手立てが必要になってきている。時期にあると考えている。こういった危険空き家の解体の補助については、一定の条件があるものの国の助成措置が講じられるようになってきた。今後、村としても他市町村の取り組みを参考にして、国の社会資本整備総合交付金を活用した事業の実施について検討していきたい。



また、コロナ禍を契機として近年地方回帰の意識が高まったためか、空き家バンクへの問い合わせが増えている。この制度については、現在本村の登録が一軒のみとなっているが、より利用しやすい制度となるよう見直しも行ったので、PRをさらに強化して、ただ単に取り壊すのではなく、登録件数の増加と利活用の推進を図っていく。



産業建設常任委員会所管事務報告



令和5年2月3日、議員全員と役場担当者で村内全域にわたり、主要道路の状況調査を行いました。今年の冬の特徴として、積雪量は昨年と大きな変化はありませんが、降り方が異常で短時間に多量の降雪があり、除雪が間に合わず、生活に大変な支障をきたしていました。また、積雪量も平場と山間部の差が大きく、場所によっては3.5倍くらいの差が見受けられた。

調査した結果の留意点

1. 道路沿いに倒木や傾いた木が非常に多い。
2. 屋根からの落雪による危険箇所が無数にある。特に空き家に多量の積雪あり。
3. 今後、雪解けが進めば、雪崩が発生すると予想される箇所が多い。
4. 多量の降雪と強風による雪庇が多く、場所によっては5メートルを超えて、除雪車が通るのが精一杯で、車で走行するのに危険を感じる。
5. 裏通りや山間部で圧雪や凍結場所が非常に多く、転倒やスリップ事故に繋がり易い。

以上の事を考えた時、雪国では冬期間の生活において、道路の安全確保は必須事項であり、予算や計画に拘わらず、あらゆる状況にも、臨機応変な対応が必要ではないかと感じました。

また、雪よる「雪提」で道路を守っている箇所もあり、高度な技術にて、村内の除雪を担当している各業者の皆様、感謝申し上げます。



予算審査委員会で…

早坂予算審査特別委員長 談

予算審査特別委員会で当局と議員の質疑応答で白熱した一幕がありました。村の豪雪対策本部設置基準の見直しと「除排雪等補助金」事業を巡るやり取りです。(4ページ参照)

村当局は、従来の基準に達しなくても降雪、積雪状況に応じてより柔軟に対策本部を設置できるように要綱を「改善」したという。確かに豪雪対策本部は設置された。しかし、従来とは違い即「補助金交付」とはならなかった。補助金交付にはまた別の判断基準を設けたからだ。この対応に戸惑った村民も少なくないはず。今回村当局の「裁量」がより大きくなったともいえる。

全体として今シーズンの積雪量は、平年並みだったようだが、12月下旬の雪の降り方を思い出すと釈然としない。積雪による倒木で長時間の停電も発生し、除排雪にも難儀した。局所的には確かに「豪雪」だったといえる。村当局の裁量が広がった分、「その運用にはもっと気を配るべきでは」というのが議員側の言い分だった。行政の裁量について「より良き裁量」をひきだすことも議会の大きな役割であることを改めて気づかされた一幕でした。





ブレイクタイム

楽しみありますか 幸せ感じていますか

厳しい冬が過ぎ、雪がもう解けて、桜の花が咲いてくる。山が緑に染まってくる。
 花壇を耕し、畑も耕し。種を播き、苗を植え、水をかけて芽を眺め。
 田んぼが少しずつ緑色に、トマトが育ち、赤らんできて。
 いっぱい汗を流し、頑張って収穫し。いっぱい飲んで、いっぱいしゃべって。
 少しの間の静寂の盆を迎え、立ち止まって我を振り返り、家族を親を思う。
 祭りの音と、揺れる明かり、懐かしい友、うれしい出会い。
 やがて稲が実り、にぎわう時を僅かに過ごし、山の葉が燃え、そして散ってゆく。

一年の「あつという間の短いことよ」とぼやきつつ、雪が消えてからの忙しい合間にも少しの楽しみを見つけたい。一日も無駄にしないで生きていきたいと願う。幸せでありたいと願う。願えば叶うよと思う。叶えばうれしい。

好きな歌は何ですか？ 趣味は何ですか？ 友達と遊んでいますか？
 旨いもの喰っていますか？ 毎日飲んでいますか？ 笑っていますか？

楽しみはありますか…きっとありますよ！
幸せ感じていますか…きっと感じますよ！

— 編集長 —



議会広報 常任委員会

委員	委員	副委員長	委員長
雄	光	藤	早
奈	民	雅	佐
			之
			智

厳しかった冬の雪も、眩しくて目も開けられないような日が続いて、ようやく消えて無くなり春に。桜は咲きましたか？もうすぐですよ。

議会に挑戦して二十年。長いような短いような。精一杯の気持ちで毎日過ごしてきたけれど、コロナ騒ぎでの停滞は少し悔やむところ。それでも、村のいろんな人に出会い、語り合い、ビックリの問題が現れ大揺れしたり。脳への刺激がずいぶん多かったなと思いつつ、数少ない頭の髪をなせる。新しい時代はどうなっていくのだろう。

十年先は全然分らない。五年先だって見通せない日が続くけど、私たちの村はどう進んでいくのだろう。

でも、不安要素を上げてみきりがなくなきつと良いことがあると思うと少し気が楽になるよきつと。

あまり悩むな、
 楽な気分が一番だよ。

(矢口 智)



後書き



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」大蔵村

プランターオーナーを募集します！

大蔵村を花でいっぱい

「日本で最も美しい村」連合に加盟している大蔵村。「美しくしようとする人々が住んでいる村」というスローガンを掲げ、村と住民との協働のまちづくりを目指しています。村民みんなで大蔵村を花で飾り、美しい村にしましょう！この活動にあたり、花の苗やプランターなどを村で準備し、各地区や企業、団体等にお配りします。本活動の趣旨にご賛同いただき、みなさんのご協力をお願いします。

- ◆ 配布物 ・プランター ・花の土、
・花の苗（詳しくは申込書をご覧ください。）
- ◆ 申込期限 令和5年5月12日（金）
申込書を記入のうえ役場産業振興課へ提出願います。
- ◆ 募集团体 地区、企業、団体等（任意の団体で構いません。隣近所の集合でも大丈夫です。）役場に花苗を取りに来ていただける方。
水やりや手入れなどは、責任を持って行ってください。
- ◆ 受渡し日 6月上旬の予定です。
- ◆ 予算の都合上、申込多数の場合は調整させていただきます。あらかじめご了承ください。
- ◆ プランターを置く場所、花を植える場所につきましては、役場で指定しませんが、土地所有者の了解を得て行ってください。
できるだけ、たくさんの方の目に触れる場所をお願いします。
- ◆ お問い合わせ先 大蔵村役場産業振興課商工観光係

電話 75-2105

令和5年度プランターオーナー募集事業申込書

組織名 : _____

代表者名 : _____

代表者連絡先 : _____

プランター設置、花植え場所 : _____

品目	規格	単価	申込数	金額	
プランター	650m/L	300			合計 8,000 円 が上限
花の土	40ℓ	1,500			
ベゴニア苗	1本	100			
マリーゴールド苗	1本	100			
メランポジウム苗	1本	100			
ペチュニア苗	1本	100			
ニチニチソウ苗	1本	100			
合計					

※花の土 (40ℓ) 1個でプランター約2~3個に利用できます。

この機会に資格を取得しよう！



大蔵村では、就職や仕事に役立つ資格又は免許の取得を支援するため、

経費の半分(上限10万円)を補助する「資格取得による雇用促進事業」を実施します。

対象者：大蔵村に住所を有し、今後も引き続き村内に居住する意志のある満65歳までの方

対象資格：国家資格及び国家検定ほか、村長が認めたもの
詳しくは、役場産業振興課までお問い合わせください。
(ただし、自動車運転者のうち、普通自動車免許、自動二輪車免許、及び原動機付自転車免許を除く)
令和5年4月3日～令和6年3月31日に資格・免許を取得した方が対象

対象経費：受講料（教材費を含む）、受験料、資格の登録料

補助額：上記対象経費の2分の1（上限10万円）

手続き：下記の書類と申請者の印鑑を持参し、役場産業振興課で手続きしてください。

- ①受験に要した経費を明らかにする書類（領収書等の写し）
- ②資格・免許を取得したことを証明する書類（合格通知書や免許証等）
- ③村の納税証明書（納税状況について閲覧に同意した場合は不要）
- ④学生証の写し（学生の場合）

問合せ：役場産業振興課 商工観光係（Tel 75-2105）
詳しくは、大蔵村ホームページをご覧ください。



大蔵村長選挙

大蔵村議会議員選挙

無投票のお知らせ

令和5年4月23日(日)投票日の大蔵村長選挙
及び大蔵村議会議員選挙は無投票となりました。

4月18日(火)に告示された大蔵村長選挙及び大蔵村議会議員選挙は、同日、立候補の受付が行われましたが、立候補者数が定数を超えなかったため、4月23日(日)に予定されていた投票は行われなかったことになりました。

令和5年4月19日

大蔵村選挙管理委員会

電話 0233-75-2111

内線 211・212